

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・ようやく動き始めた春物の動きをみると、例年とは違うカラー、デザインのもので売れており、夏に向けて動きがあるのではないかと期待している。
		コンビニ（エリア担当）	・地区全体では決して良い状況ではないが、コンビニ業界に直接プラス要因となる大型建築工事が増加しており、小売業に直接金が回る流れが見込める。ただし短期的なものである可能性は高い。
		家電量販店（経営者）	・地上デジタル放送の開始間近となりテレビの販売が伸びる。
		家電量販店（店員）	・地上デジタル放送が始まるので、薄型テレビの販売台数が増える。
		旅行代理店（従業員）	・4月以降の東京方面への申込が好調である。ハワイへの申込も同様の状況であり、少しずつ回復してくる。
		旅行代理店（従業員）	・そろそろ団塊世代をターゲットとした商戦が始まっており、今後について期待している。2008年度のことが、1千万円のクルーズを受注した例もある。
		旅行代理店（従業員）	・来客数が増えている流れから、今後についても期待できる。
		観光名所（役員）	・ロープウェイの予約状況が強含みに推移しており、今後については期待できる。
		設計事務所（職員）	・札幌近郊の定山渓では観光入込客数に大きな落ち込みはなく、積極的な動きもみせる事業者もあるようであり、ようやく底から脱却しようとする気配が感じられる。
		変わらない	
百貨店（売場主任）	・今年に入り、暖冬が続いている中、春物のコートやジャケット、スーツ関連の動きが目立っている。特に婦人衣料、ヤング衣料を中心に動き始めており、今後はミセス、アダルトの動きが活発になる。		
百貨店（販売促進担当）	・暖冬で春物商戦が前倒しされた分、収束も早くなるのが推測され、通期ではプラスにはならない。ただ、寒さが緩んだことで、客の心理状態がやや明るくなり、そのことがプラスに働くかもしれない。		
スーパー（役員）	・取引先や仕入先の状況からは、良くなることも悪くなることも言えない。また、客の買物の様子をもみても、購買金額が大きく減っているわけでもなく、大きな変化は感じられない。		
スーパー（役員）	・過去11か月、食料品の景気のパロメーターと考えている客単価が前年比101～102%台で推移しており、今後2～3か月で変化は出てこない。		
家電量販店（地区統括部長）	・地上デジタル放送の開局に伴い、薄型テレビを中心としたAV機器の需要は伸びて行くと推測されるが、一方で単価の低下が著しく、全体では前年とほぼ横ばいで推移する。		
乗用車販売店（従業員）	・今月、新しく新型車が投入されたが、状況はあまり変わっていないように感じている。販売台数も厳しい状態であり、今後についても変わらない。		
乗用車販売店（営業担当）	・全体的に市場が前年ほど伸びていない。		
住関連専門店（経営者）	・この春、商店街の近隣店舗が次々と退店、閉店に追い込まれている。		
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・当面、原油価格及び石油製品価格は高値安定にて推移し、今後についても変わらない。		
高級レストラン（スタッフ）	・3月の予約状況は良いが、4月の予約状況は統一地方選の影響もあってか動きが鈍い。今月は北海道内からのビジネス客や観光客が前年比で50%増えており、明るい兆しを感じている。また今月の個室利用で自動車関係企業による利用があったことから、北海道の飲食業にもようやく自動車産業の好景気が波及してくることを期待している。		
観光型ホテル（経営者）	・今のところ、昨年同期の予約状況とほぼ同じような動きをしているため、景気の動向としては変わらない。		
観光型ホテル（スタッフ）	・この先3か月の宿泊客の予約状況はほぼ前年並みに推移している。		

		美容室（経営者）	・来店の際、会員カードに記録されている前回の来店日時を参考にしてから予約をするという声を聞くようになっており、来店サイクルが固定化されてきている傾向を感じている。
	やや悪くなる	スーパー（店長）	・今月新たにオープンしたスーパーがあり、この先も限られたパイの食い合いが続き、競争激化は必至となる。
		観光型ホテル（経営者）	・先行きのツアー客の動きが沈静化している。4月は動物園の様態替えに伴う長期の休園があり、観光客の動きが鈍る。卒業、入学記念のプランも引き合いがない。公定歩合の上げが家計を直撃するとの見方が心配される。
	悪くなる	衣料品専門店（店長）	・今年は選挙が行われるが、選挙のある年は景気が悪くなるので、今年も悪くなる。
		スナック（経営者）	・旭川では観光客が増えてきているが、スナックまで足を運ぶことは少ない。また知事選や道議選といった選挙の影響から、歓迎会や送別会が少なくなるような気配が出てきている。
		住宅販売会社（経営者）	・住宅業界の場合、一次取得者が減っている中で、ローン等を借りることのできない層も増えており、非常に厳しい状況になってきている。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（経営者）	・物流の流れが良くなっており、こうした状況がまだしばらくは続くのではないかと期待している。
		通信業（営業担当）	・期末という季節的要因は多少あるが、自社の業績が予想より堅調に推移しており、近々の計画も順調に推移している。また取引先周辺からも業績が安定または上昇傾向にあるとの話を聞く機会が増えている。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・成約は別として、昨年の同時期よりも商談の情報量が若干多くなっていることから、期待を含めて、今後についても多少は良くなってくると見込んでいる。
	変わらない	輸送業（支店長）	・選挙の年ということもあるが、新年度以降の引き合いはまだ見えてこない。連休明けまでこのままの調子が続く。
		輸送業（営業担当）	・豪州の大かんばつ、アメリカを始めとした世界各地でのETAノール生産増などにより、飼料業界では原料価格の高騰、原料不足といった環境変化が、今夏以降にでてくる。
		金融業（企画担当）	・原油価格は低下傾向にあるが、原材料価格は高止まりしており、企業収益は厳しさが続く。個人消費については、雪解けが早いことから、郊外型レジャーが期待されるが、地方自治体の財政破たんが連日報道されていることから、消費マインドは盛り上がらない。総じて景気は横ばいで推移する。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-
	雇用 関連	良くなる	学校〔大学〕（就職担当）
やや良くなる		職業安定所（職員）	・若干の遅れはみられるが、今後、新規求人数が増加してくる。
変わらない		人材派遣会社（社員）	・販売関連の春商戦を除くと、他の業界で企業業績が回復する要因が見つからない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・人口10数万人の地方都市では、若年層と練熟した技術者層において選択できる就職先が年々少なくなっている。
		職業安定所（職員）	・有効求人数は6か月連続して前年を下回っていることから、今後も同様の状況が続く。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が前年を下回っており、パート求人の占める割合が高くなっている。
やや悪くなる		求人情報誌製作会社（編集者）	・今年に入ってから求人マインドは低調であり、昨年までの人材難の状況とは企業の動きが異なる印象を受けている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人数は昨年をピークにやや下降している。新卒に対する求人と比べて、中途採用や非正社員系の求人は、一部の業種を除きしばらくは昨年の水準を上回ることはない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・一昨年と比べると求人数が減少してきており、短期的な推移ではなく、ある程度中長期的な下がり傾向がみられる。
悪くなる		-	-